

板橋区 地域住民等の見守り・地域づくりに関する協定締結事業者様
～見守り活動事例のご紹介～

【東都生活協同組合 様：令和4年9月2日締結】



見守り活動事例

【事例1】

対象者：東都生協組合員のお子さん
状況：商品お届け時に玄関前で泣いていた。



対応：配達担当者がお子さんに声をかけ事情を聴きとり、母親の携帯電話に連絡。その後、母親が帰ってこられるまでお子さんと一緒に玄関前で待機。後日、父親から連絡があり、精神状態が不安定だったようで、配達で忙しい中での今回の行動に大変助けられたとのお礼の言葉をいただきました。

【事例2】

対象者：障がいをお持ちの東都生協組合員
状況：普段対面で商品をお渡ししている組合員が、扉を閉めたまま玄関横に商品を置いておくよう部屋の奥の方から言われた。



対応：配達担当者が様子がおかしいと感じ、組合員に声をかけ扉を開ける確認をして家の中に入ったところ、ハンガーラックと一緒に組合員が倒れていたのを救助した。幸いにしてけがもなく、組合員からは「起き上がることができずに困っていたが、忙しい配達担当者に助けを求めることをためらっていた」とのこと。率先して助けていただいたことに感謝されました。

事業者様からのメッセージ

私達は商品配達時に“いつもの担当者”によるコミュニケーションを大切にする事で、緩やかな見守り活動を区や地域包括支援センターと連携をして、「住み慣れたまちでいつまでも安心して暮らし続けていくこと」のできる支え合いの地域づくりを目指していきます。